

佐高

スーパー グローバル ハイスクール
SGH通信

No. 23 (平成28年9月21日発行)

SGHリレー講座 高校1年

「クリティカルシンキング特別講義」

→ 常識を疑え。問い続ける。仮説を立てる。



黒板で説明する齋藤多聞くん



汗だくになりながら熱弁をふるう若山先生

2016年9月15日(木)6・7限目(格技場)、**帝京大学法学部の若山昇先生**による「クリティカルシンキング特別講義」を行いました。若山先生は、高1の学校設定教科目「CTP(クリティカルシンキングプログラム)」の教科書『**誰でもわかる クリティカルシンキング**』(北樹出版)の著者で、クリティカルシンキング(批判的思考)研究の第一人者です。この特別講義では、「**クリティカルシンキングとは何か。なぜ必要なのか。**」などについて、様々な活動を通して学びました。

前日までの課題

若山先生から、前日までにやっておく課題が出されました。それは、各自のケイタイやパソコンを使って、次の質問にWebで答えることです(回答できる人のみ)。

- 問い1 あなたの好きな「おでんの具」は何ですか。
問い2 なぜ、それが好きですか。

おでん演習 ～ 形式要件は確実に 的確に答える 立場を替えて考える

授業は、「おでん演習」から始まりました。若山先生のサイトには生徒から120件以上の回答が届いており、それをもとに授業が進められました。例えば、以下の二人の回答は、はたして「正しい」でしょうか。皆さんも、クリティカルシンキングをしてみましょう。

	問い1	問い2
Aさん	ロールキャベツ	・私は、もともとロールキャベツが大好きで、家でも月に2,3回は食べています。特に味がよく染みこんだおでんのロールキャベツをご飯と一緒に食べるのが好きです。
Bさん	はんぺんです	・理由の一つ目は見た目が可愛いからで、二つ目はふわふわで美味しいからです。

Aさんのロールキャベツに寄せる熱い思いはひしひしと伝わってきますが、正しい答え方をしているのはBさんです。「なぜ？」と問われた場合は「(なぜなら)～だからです。」などの形式要件を確実に押さえ、的確に答える必要があります。Aさんは、残念ながら質問に正しく答えていることになりません。ちなみに、本校生の回答の正答率は80%でした。(これはかなり高い数字だそうです。)

また、あなたの好きな「おでんの具」は何ですか？と聞かれている場合は、「ロールキャベツ」と単語のみで答えるのではなく、「はんぺんです。」や「私は大根が好きです。」などと、質問した側の立場になって答えることが大切であることも指摘されました。クリティカルシンキングは、実はこんな身近な場面でも使っているんですね。そして、これを使えるかどうかで、人生が変わってくることもあるのです。

この二つの形式要件をクリアした3名(瀧口梨乃さん、鈴木奈央子さん、松崎ののかさん)が表彰されました。

【計算機演習】 ～ 常識を疑え 問い続ける 仮説を立てる 自分で確かめる

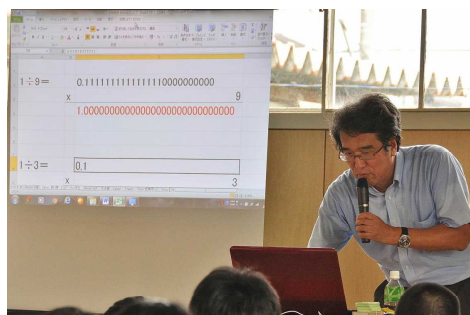
次は、ケータイやタブレットの計算機を使った演習を行いました。普段、計算機を使った計算の答えが間違っていないかどうかを心配する人は、まずいと思います。それは、私たちにとって「常識」だからです。しかし、例えば、エクセルで $1 \div 9$ を計算してみると、答えは0.1111...と無限に続くはずなのに、なぜか途中で0になってしまいます。しかも、計算機によって答えは違うのです。

授業では、計算機によって異なる結果がでる理由について仮説を立てたり、様々な計算の正解を筆算で求めたりしました。「計算機は絶対に正しい」という私たちの常識は、無惨にも打ち砕かれました。

よい発言や回答をした4名(荻原佑介くん、熊倉雅紘くん、齋藤多聞くん、三好琴葉さん)が若山先生からポイントをいただきました。



生徒の中に入って質問



エクセルでの計算



筆算による正解探し

【楽しい語録づくり】 ～ 学んでも、使えなければ、タダの無駄！ by 若山先生

最後に、Webを使った課題が出されました。(問い1と2は、その場で回答))

- 問い1 今日の授業に対する質問は何ですか。
 問い2 今日の授業で
 ①あなた自身が学んだこと
 ②意見・感想を書いてください。

【演習】 これまでに学んだ学習のポイントを、短いメッセージにして、すぐに思い出せるようにしましょう。覚えやすい、楽しい語録を作成してください。
 例：「まずは自分で確かめよう」、「常識の非常識」など



課題の説明をする若山先生

☆以下は、課題の問い2の回答です。

- ①日頃からいろんな物事に疑問をもつこと、②今まで何気なく受けていたCTPの授業の大切さを学べてよかった(飯塚菜摘さん)
- ①質問には、相手が何を聞きたいのかを理解し的確に答えること、を学びました。(沼田未来さん)
- ①私が学んだことは、どんなに賢いと思っているものでも間違っていることがあり、一番信用できるのは、自分で実際に確かめることだということです。(加川こももさん)
- ①どんな事にも疑問を持つことが大切だと学びました。②とても良い経験になりました。これから日々の生活に対して疑問を持って生活したいと思います。(上野修平くん)
- ②考えることがとても大事だと思いました。(小和田龍之介くん) など

「若山先生ありがとうございました」(本通信の内容については、若山先生の了解を得ています)